



運輸労連神奈川県連青年婦人部は、11月25日ワークピア横浜にて「第47回定期総会」を開催し、1年の総括と次年度方針を確立しました。今総会には、県連を代表し亀崎執行委員長、高橋書記長、運輸労連東京都連合会より、文山書記次長、安藤副部長（都連青年婦人部）が激励に来場されました。総会には、各単組の代議員30人が出席し、2016年度活動報告、2017年度活動方針、スローガン採択、役員改選など、それぞれ可決・承認・採択しました。

長南副部長（全日通労組）の開会の挨拶で開始され、議長選出には、高柳代議員（丸全昭和運輸労組）が選出されました。

高柳議長は業界の状況にふれ、「トラックドライバーの高齢化と人手不足問題の解消。女性が働きやすい環境作りは急務！」と登壇の挨拶がされました。



高柳代議員（丸全）



諏訪部長（新栄）

諏訪部長（新栄運輸労組）は、主催者挨拶でいつもと違う少し固目な挨拶がされ、残念ながらギャグは滑りましたが、しっかりと笑いを取っていただきました。

来賓挨拶では、県連執行部よりを代表して亀崎執行委員長より挨拶がされました。

亀崎委員長は、部紙『MIRAI』について、「部紙『MIRAI』を通じ、より多くの活動を広めること、その活動に興味を持っていただき、参加しやすくなるように期待をしたい。また、政治については、『無関心であっても無関係ではられない』ということをもう一度確認していただきたい」と述べました。



亀崎県連執行委員長

運輸労連東京都連より、文山書記次長、安藤副部長（都連青年婦人部）よりそれぞれ挨拶をいただきました。文山書記次長は、都連青年婦人部は人員不足で休部していた事、現在にいたるまでの経緯や神奈川県連青年婦人部との関わりについて、サポートの立場から挨拶がされました。



東京都連：文山書記次長



東京都連：安藤副部長

安藤副部長は「若い世代の環境作りは我々が担わなければいけないと感じています。今後も、力をたずさえるよう、共に頑張りましょう」と挨拶されました。

魅力ある産業とな



中井事務局次長



萩原副部長



長南副部長

2016年度活動報告を中井事務局次長（楠原輸送労組）、企画部より萩原副部長（日新労組）、広報部より長南副部長がそれぞれ報告されました。



井上事務局長

2017 年度活動方針（案）を井上事務局長（ヤマト運輸労組横浜）より提案され、承認、可決、決定されました。

2017 年度活動方針においても、『組合運動の中核となって組織全体の地位向上と発展のために積極的に活動をすすめる』ことを柱に、『失敗を恐れな
い！』を合言葉に諸活動にチャレンジする方針を固めました。

次に、スローガンを議長が読み上げ確認されました。『進めようつながりを！広めよう思いやり！』をもとに一年間活動することが確認されました。

役員改選では議長が役員体制を読み上げ、それぞれ一言挨拶がされ、磯崎新部長を中心に総勢 28 名の体制が確認されました。



南 前幹事（全日通）



斎木前幹事（全日通）



丸山前幹事（日新）



2017.11

県連担当役員として高橋副執行委員長、県連担当委員として萩原執行委員、松本執行委員よりそれぞれ挨拶がされました。また今期で退任となる方より、挨拶がされました。最後に青木新副部長（ヤマト運輸労組厚木）より閉会の挨拶がされ、磯崎新部長より、団結ガンバロー三唱にて閉会されました。



運輸労連神奈川県連合会
青年婦人部 第47回定期総会

2017.11.25

2017.11.25